

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 池の平ホテル&リゾート							
代表者名	氏名	矢島 義擴	役職名	代表取締役				
主たる事務所の所在地	長野県北佐久郡立科町大字芦田八ヶ野1596							
主たる事業の分類	大分類	M 宿泊業、飲食サービス業						
	中分類	7511 ホテル業						
主たる事業の概要	ホテル業							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	4174	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO ₂	自動車の台数	49	台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	http://www.ikenotaira-resort.co.jp/
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

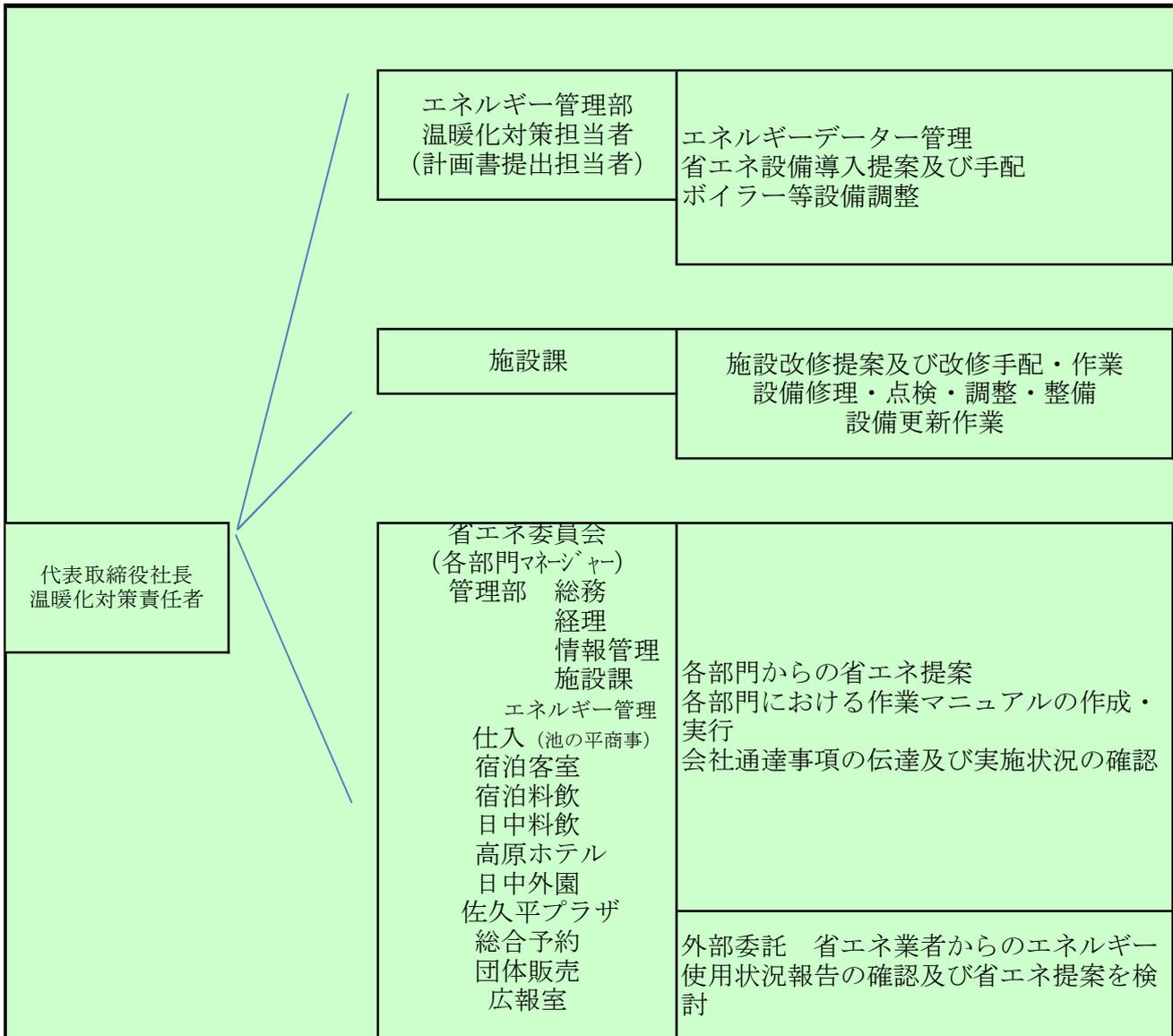
4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

旧型設備の更新並びに施設改修による、省エネルギー効果の向上

施設運用方法の改善による省エネルギー化
(運用マニュアルによる管理)

エネルギー使用量及び費用の周知による省エネルギー・経費削減意識の向上

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	11,123	t-CO ₂	入場人数	142	単位	1万人	
25年度	調整後排出量	9,842	t-CO ₂	基準原単位	78.41	t-CO ₂ /	1万人	
目標年度	目標排出量	10,566	t-CO ₂	目標原単位	74.01	t-CO ₂ /	1万人	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
28年度	目標削減率	5.00	%	目標削減率	5.61	%		
目標設定に関する説明	更新時期の近づいている機器が複数有り、系統的な更新・改良を行う事により、確実な削減を進める。また、電力使用時間の平準化によりデマンド及びピークカットに取り組む。前年度より使用量の増えているエネルギーが有る為、集計及び機器調整の精度を高める。							※事業の内容により単一の前原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	10,329	t-CO ₂	入場人数	141.00	単位	1万人	
	調整後排出量	10,296	t-CO ₂	原単位	73.26	t-CO ₂ /	1万人	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
26年度	削減率	7.13	%	削減率	6.56	%		
排出量等の増減理由	池の平ホテルにおいて25・26年度とボイラー更新に伴い燃料転換A重油から灯油へ及び小型ボイラ導入により過剰な能力の大型ボイラーを休止させることが出来た為、燃料使用量の大幅な削減となった。各部署で照明及び空調温度管理のマニュアルを作成し実行したことにより無駄なエネルギー使用の削減。							
第二年度	排出量	9,507	t-CO ₂	入場人数	136.26	単位	1万人	
	調整後排出量	9,482	t-CO ₂	原単位	69.77	t-CO ₂ /	1万人	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
27年度	削減率	14.52	%	削減率	11.01	%		
排出量等の増減理由	27年10月にASSET補助事業を受け佐久平プラザ21のA重油焚き温水ボイラー及び吸収式冷温水発生器の燃料を都市ガスに転換を実施。これによりCO2削減と燃料効率の向上を図った。 電力消費量の大きい宴会場・会議室等の照明設備のLED照明化を実施した。冬季の積雪が少なく、気温の低下も緩やかであった為、暖房用燃料の使用量が少なくなった。							
第三年度	排出量	9,398	t-CO ₂	入場人数	135.94	単位	1万人	
	調整後排出量	9,367	t-CO ₂	原単位	69.13	t-CO ₂ /	1万人	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
28年度	削減率	15.50	%	削減率	11.83	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	佐久平プラザの重油使用が無くなり都市ガスに転換された事によるCO2の削減。照明器具のLED化・エレベーターリニューアルによるインバーター制御化、空調温度管理等による電力使用量の削減。							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
25 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
26 年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
27 年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
28 年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	164	t-CO ₂			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	165	t-CO ₂	削減率	-0.61	%
26年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	147	t-CO ₂	削減率	10.36	%
27年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
28年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	110103管理台帳の整備	26	2		
2	エネ起	110104 目標設定、実行計画の策定	26	10		
3	エネ起	110205配管系統図等の整備	27	2		
4	エネ起	110301計測器の設置、運用	27	27		
5	エネ起	120502流量、圧力を可変流量制御に変更	28	47		
6	エネ起	140202給水流量、圧力の調整	28	2.6		
7	エネ起	140204トイレに擬音装置の設置	26	0.144	26	0.144
8	エネ起	150104高効率変圧器への更新	28	0.783		
9	エネ起	150201照明器具及び電球を省エネタイプに更新	28	43		
10	エネ起	160202窓に断熱フィルムの設置	28	3.84		

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	1281		33	25	31
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	7,448						
1,500k1以上 3,000k1未満			1	6,850	1	6,389	1	6,362
1,500k1未満	4	3,675	4	3,479	4	3,118	3	3,036
合計	5	11,123	5	10,329	5	9,507	4	9,398

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
自動車総数	49	45	50	49
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

14 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	なし
その他	なし

15 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	パート、アルバイト社員のマイロバスによる送迎 短期アルバイトについては車両の持ち込みを原則禁止 従業員300人中、149台50%がマイカー通勤
公共交通機関の利用促進	お客様からの宿泊予約等のお問い合わせの際に、交通機関のご案内
来客者の交通対策	最寄交通機関からのお客様の自社バスによる送迎 電気自動車充電設備を設置し、電気自動車ご利用の促進を図る
物流の合理化	仕入れルートを集約する事により仕入れコストの低減及び搬入車両台数の削減を図る。

16 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

17 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	照明器具を順次LEDタイプに更新中 温水ボイラーを4基更新すると共に、内2基は燃料をA重油から灯油に転換
第一年度実績	26年11月にレイクレストプラザに小型の給湯・暖房兼用無圧ボイラーを1台設置し運用を開始した。大型真空温水ボイラーから切り替えたことにより冬季休館中の暖房温水温度を下げる事が出来、燃料消費量の大幅な削減となった。
第二年度実績	27年10月にASSET補助事業を受け佐久平プラザ21のA重油焼き温水ボイラー及び吸収式冷温水発生器の燃料を都市ガスに転換を実施。これによりCO2削減と燃料効率の向上を図る。
第三年度実績	施設内各所において浄水（井戸水）の漏洩修繕及び浴場・温水プール補給水の調整を実施し、井戸水組み上げに伴う環境負荷の低減及び下水排水量の削減を実施中。

18 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取り組み	平成23年10月にBEMS（エネルギー計測監視設備）を設置 照明電球を白熱球から蛍光電球又はLED電球に交換	629.5
その他	太陽光・コージェネ・廃熱回収について検討を実施予定	